

㈱中和建設の環境行動計画

平成20年12月18日

■ 取組方針

環境基本理念

㈱中和建設は、土木一式工事・造園工事・造林工事・産業廃棄物収集運搬業を行っていますが、当社が事業活動を進めていく中で、環境に与える影響が大きいことを認識すると共に、環境保全が地元企業として重要課題であり、責務であると考えています。

当社は事業活動に於ける環境へ与える影響を適格に捉え、継続的に環境負荷の低減のために以下の取組を推進します。

環境行動指針

私たちは、事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動に伴う、環境に与える負荷の低減に努めます
- ② 事業活動に於けるエネルギー消費の削減により、地球温暖化防止に努めます
- ③ 廃棄物の削減とリサイクルを進めます（一般廃棄物・産業廃棄物）
- ④ 資源の有効な利用に努めます（紙・水使用量の削減）
- ⑤ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づき、全ての社員が高い環境意識をもち、社員一人一人が自発的に環境に配慮した行動ができるように、環境方針と取組目標及び具体的取組内容を全社員に周知します。

平成20年12月18日

株式会社 中和建設
代表取締役 松川 秀雄

■ 環境負荷低減の取組目標及び具体的な取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組内容は、次の通りです。

目標一	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、20年度（317.54kg-CO ₂ /百万円）を基準として22年度までに3%削減する
具体的な取組	<p>（電気量の削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① O A機器等の使用時間外の電源OFFを徹底する ② 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する ③ カーテン・ブラインドを利用して、室内への日射と通風を調節する ④ 作業効率の改善により残業時間を極力少なくする <p>（燃料費の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 社用車の効率的な使用（経路・相乗り等）を徹底する ⑥ 無駄なアイドリング防止を徹底する ⑦ ダンプトラック・建設機械等の効率的な使用を周知徹底する ⑧ 定期的な車両整備を行う ⑨ 作業効率の改善により残業時間を極力少なくする

目標二	産業廃棄物の排出量（売上高当たり）を、20年度（3.05トン/百万円）を基準として22年度までに3%削減する。また、一般廃棄物の排出量を適切に把握すると共に削減に努める。
具体的な取組	<p>（一般廃棄物に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一般廃棄物の排出量の把握方法を定め、毎月記録する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する <p>（産業廃棄物に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する ⑤ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない ⑥ 再使用可能な資材のさらなる検討を行う

目標-3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、20年度（0.275kg/百万円）を基準として22年度までに1%削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上で確認してから印刷する ② 社内資料の両面コピー・縮小コピー・裏紙利用を推進する ③ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標-4	水の使用量20年度（21m ³ ）を基準として22年度までに1%削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 洗車用のホースに手元コックを取付け、水を流しっぱなしにしない ② 水道配管からの漏水を定期的に点検する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、代表者を委員長とする環境推進委員会を設け、全社員が取組目標を理解し、一人一人が主体的に【具体的な取組】を実行します。